

学術的、技術的、対外的活動調査票

1. 対外発表や特許出願等について

項 目		平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	合計	
受賞等		件	件	件	件	件	件	件	
論文	国内	論文数	件	件	3件	1件	1件	3件	8件
		うち査読論文	件	件	件	件	件	2件	2件
	海外	論文数	件	件	件	3件	2件	2件	7件
		うち査読論文	件	件	件	件	件	2件	2件
口頭発表		件	1件	8件	16件	14件	12件	51件	
		件	1件	1件	5件	3件	4件	14件	
特許出願		件	2件	4件	4件	3件	5件	18件	
		件	件	1件	2件	5件	件	8件	
		件	件	件	件	件	1件	1件	
展示会等		件	件	1件	4件	2件	1件	8件	
掲載／放映		件	件	1件	件	件	件	1件	
(採択記事は除く)		2件	1件	2件	3件	8件	7件	23件	
		件	件	件	1件	5件	1件	7件	
他事業への展開		件	件	件	件	件	件	件	
		件	件	件	件	件	1件	1件	
		件	件	件	1件	1件	2件	4件	
		件	件	件	件	件	件	件	
実用化		件	件	件	件	(2)件	3件	3件	
商品化		件	件	件	件	件	3件	3件	
起業化		件	件	件	件	件	件	件	
成果発表会		1回	1回	1回	1回	1回	2回	7回	
その他特記事項(依頼講演等)		回	回	回	6回	1回	3回	10回	
JST/文科省以外の団体等の来訪	国内団体	のべ 件	のべ 76件	のべ 61件	のべ 15件	のべ 27件	のべ 13件	のべ 192件	
	海外団体	のべ 件	のべ 5件	のべ 4件	のべ 件	のべ 件	のべ 1件	のべ 10件	
備考	受賞した賞名： 著名な掲載雑誌名：								

2. 地域COEの状況について

	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	期間 累計
共同研究参加機関数(大学・公設試)	5機関	9機関	6機関	4機関	7機関	7機関	11機関
共同研究参加企業数	社	社	1社	3社	4社	3社	5社
上記企業のうち、既存事業以外の新規事業に進出するために参加した企業数	社	社	社	社	社	社	社
本事業実施により設置された研究会数	件	件	件	件	件	件	件
共同研究参加企業以外で研究会に参加している企業数	社	社	社	社	社	社	社

■学術的実績[なお、学会賞等を受けた場合は賞の名称を、筆頭著者が雇用研究員の場合は「雇」、筆頭著者が35歳以下のものは「若」とそれぞれ備考欄に記入すること]

(論文)

テーマ：A-1a・・・2報

No	年度	論文名	掲載誌名(巻、号、頁)	著者名	備考
1	H18	沖縄産海産物ペプシン消化物のACE阻害活性	南方資源利用研究会誌	今田 有美 小野寺 健一 直木 秀夫 安元 健	
2	H19	褐藻カロテノイドーフコキサンチン安全性試験	日本食品科学工学会誌	嘉手苺 崇 當山 洋 安元 健	雇若

テーマ：A-2b・・・5報

1	H18	Camellianoside, a novel antioxidant glycoside from the leaves of <i>Camellia japonica</i>	Biosci. Biotechnol. Biochem (70 (8) 1995-1998)	Kenichi Onodera, Kaoru Hanashiro, Takeshi Yasumoto	雇若
2	H19	ツバキ属植物の抗アレルギー・抗炎症成分	南方資源利用研究会誌	津波 和代 久場 恵美 廣瀬 美奈 津覇 恵子 小野寺 健一 石川 桂一 比嘉 淳 直木 秀夫 安元 健	雇
3	H19	In Vivo Studies on Anti-allergic Activities of <i>Camellia japonica</i> Extract and Okicamelliaside, a Degranulation Inhibitor	Food Science and Technology Research	Megumi Kuba, Kazuyo Tsuha, Keiko Tsuha, Goro Matsuzaki, Takeshi Yasumoto	
4	H19	ツバキエキスの安全性評価	日本食品科学工学会誌	久場 恵美 津波 和代 津覇 恵子 廣瀬 美奈 安元 健	
5	H19	Quantification of the Oleanolic acid in <i>Camellia</i> plants	Biosci. Biotechnol. Biochem.	Mina Hirose, Keiko Tsuha, Kazuyo Tsuha, Takeshi Yasumoto	雇若

テーマ：B-1・・・2報

1	H17	ThreeChallenges toward The Assignment of absolute Configuration of Gymnocin-B	Journal of the American Chemical Society Volume 126 9561-9570	Katsunori Tanaka, Yasuhiro Itagaki, Masayuki Satake, Hideo Naoki, Takeshi Yasumoto, Koji Nakanishi, Nina Berova	
2	H17	Gymnocin-B with the largest contiguous polyether rings from the red tide dinoflagellate, Karenia (formerlyGymnodinium) mikimotoi	Tetrahedron Letters Volume 46 3537-3540	Masayuki Satake, Yoshihisa Tanaka, Yuki Ishikura, Yasukatsu Oshima, Hideo Naoki Takeshi Yasumoto	

テーマ：B-2・・・2報

1	H17	Baculovirus expression, purification, And characterization of human protein phosphatase2A catalytic subunits α and β	Protein Expression &Purification45(2006) 150-156	Tsuyosi Ikehara, Fukiko Shinjo, Satsuki Ikehara, Shihoko Imamura, Takeshi Yasumoto	雇
2	H18	Methylation of the C-terminal leucine residue of the PP2A catalytic subunit is unnecessary for the catalytic activity and the binding of regulatory subunit (PR55/B)	Biochemical and Biophysical Research Communications 354 (2007) 1052-1057	Tsuyosi Ikehara, Fukiko Shinjo, Satsuki Ikehara, Shihoko Imamura, Takeshi Yasumoto	雇

テーマ：B-3・・・4報

1	H16	沖縄産薬草の機能性品質管理指標の確立－最適栽培条件、機能成分、機能・成分関連、機能定量分析法－	沖縄県工業技術センター 研究報告書 第6号 pp.65-91	豊川 哲也 湧田 裕子 市場 俊雄	
2	H16	LC/MS/MSによる県産植物成分の定量	沖縄県工業技術センター 研究報告書 第6号 pp.93-99	市場 俊雄	
3	H16	モクセンナのリパーゼ阻害活性作用による脂質吸収抑制作用および抗肥満効果	沖縄県工業技術センター 研究報告書 第6号 pp.101-106	豊川 哲也	
4	H17	モクセンナ抽出物の血清および肝臓中コレステロール低下作用	平成16年度 研究報告 第7号 1-4	湧田 裕子 豊川 哲也	

(口頭発表)

テーマ：A-1a・・・13件

No	年 度	発表テーマ名	学会名等	発表者名	備 考
1	H16	沖縄産褐藻類における健康機能成分フコキサンチンおよびフコステロールの含有分布と利用技術開発	平成16年度 南方資源利用技術研究会 研究発表会	嘉手苺 崇 直木 秀夫 安元 健 諸見里 聰	
2	H16	モズク盤状体が生産する有用物質に関する研究	平成16年度 南方資源利用技術研究会 研究発表会	今田 有美 嘉手苺 崇 直木 秀夫 安元 健 諸見里 聰	
3	H16	モズク盤状体の機能性成分解析	平成17年度 日本水産学会大会	今田 有美 嘉手苺 崇 直木 秀夫 安元 健 諸見里 聰	
4	H16	沖縄産未利用海藻資源の有効利用	平成17年度 日本水産学会大会	嘉手苺 崇 直木 秀夫 安元 健 諸見里 聰	
5	H17	海藻カロテノイドーフコキサンチンに関する研究	平成18年度 日本水産学会大会	嘉手苺 崇	
6	H18	海藻カロテノイド フコキサンチンの用途開発	平成18年度 日本化学会 西日本大会	嘉手苺 崇 當山 洋 安元 健	
7	H18	海藻由来の新規健康食品素材の開発	第2回 沖縄産学官連携推進フォーラム	嘉手苺 崇	
8	H18	海藻カロテノイドーフコキサンチンに関する研究2 フコキサンチンのフルクトース負荷ラットに対する影響	平成19年度 日本水産学会 春季大会	嘉手苺 崇 當山 洋 安元 健	
9	H19	オキナワモズクのフコキサンチン含量に及ぼすPPFDと施肥量の影響	平成19年度 日本水産学会 秋季大会	須藤 祐介 安元 健 嘉手苺 崇 當山 洋	
10	H19	褐藻由来糖脂質の化学的研究	平成19年度 日本水産学会 秋季大会	當山 洋 嘉手苺 崇 安元 健	
11	H19	褐藻類由来フコキサンチン及びフコキサンチノールの抗ATL効果	第66回 日本癌学会学術総会	田福 宣治 石川 千恵 森 直樹	
12	H19	褐藻類由来フコキサンチン及びフコキサンチノールの抗ATL効果	第66回 日本癌学会学術総会	森 直樹 石川 千恵 田福 宣治 奥平 多恵子 中里 哲郎 澤田 茂樹 富田 真理子	

13	H19	(ポスター発表) 海藻カロテノイド色素フコキサンチンの産業利用	クラスタージャパン2007 テクノフェア	嘉手苺 崇 當山 洋 安元 健 田福 宣治 石川 千恵 森 直樹	
----	-----	------------------------------------	-------------------------	---	--

テーマ：A-1b・・・4件

1	H15	オキナワモズク由来フコイダンに関する研究	日本薬学会 第124年会	楠元 俊英 伊波 匡彦 直木 秀夫 安元 健	
2	H17	STUDIES ON THE FUCOIDAN CONSTITUENTS OF CLADOSIPHON OKAMURANUS	GLYCO XVIII XVIII International Symposium On Glycoconjugates	Toshihide Kusumoto	
3	H18	《ポスターセッション》 Characterization of Oligosaccharides from Brown Seaweed Cladosiphon Okamuranus	IUPAC International Conference on Biodiversity and Natural Products	直木 秀夫 楠元 俊英 安元 健	
4	H18	《ポスターセッション》 Structural Characterization of Oligosaccharides from Brown Seaweed Cladosiphon Okamuranus	17 th International Mass Spectrometry Conference	直木 秀夫 楠元 俊英 安元 健	

テーマ：A-2a・・・3件

1	H16	食用植物資源の新規利用法 および加工技術の開発	平成16年度 南方資源利用技術研究会 研究発表会	渡慶次 香 津波 和代 吉田 匠 直木 秀夫 安元 健 井上 裕嗣	
2	H17	沖縄産ムラサキイモを素材 とする機能性エキスの調製 法	平成 17 年度 地域産業技術研究成果発表会	吉田 匠	
3	H17	沖縄産ムラサキイモを素材 とする機能性エキスの調製 法	平成17年度 南方資源利用技術研究会 研究発表会	吉田 匠	

テーマ：A-2b・・・12件

1	H18	ツバキ属植物の有用物質と 有効利用	産学官連携おきなわマッチングプラザ	久場 恵美 廣瀬 美奈 津波 和代 津覇 恵子 小野寺 健一 直木 秀夫 安元 健	
---	-----	----------------------	-------------------	---	--

2	H18	《ポスターセッション》 ツバキ属植物の有用物質と 有効利用	産学官連携おきなわマッチングプラザ	久場 恵美 廣瀬 美奈 津波 和代 津覇 恵子 小野寺 健一 直木 秀夫 安元 健 安里 英治 松崎 吾朗	
3	H18	《ポスターセッション》 沖縄産ヤブツバキ (Camellia japonica) 葉の 生理活性新規ポリフェノール	第48回 天然有機化合物討論会	小野寺 健一 安元 健 廣瀬 美奈 津波 和代 久場 恵美 花城 薫 直木 秀夫	
4	H18	ツバキ属植物の有用物質と 有効利用	平成18年度 地域産業技術研究成果発表会	久場 恵美	
5	H18	ヤブツバキの抗アレルギー ・抗炎症作用成分の作用機 序検討とラットを用いたア レルギーモデル試験	第27回 南方資源利用技術研究会 研究発表会	久場 恵美	
6	H18	ツバキ科植物における脱顆 粒阻害物質の産地、種間お よび部位分布	第 27 回 南方資源利用技術研究会 研究発表会	津波 和代	
7	H18	ツバキ属植物の有用物質と 有効利用	地域結集型発 研究成果移転フェア2006	久場 恵美	
8	H19	Potentially health beneficial compounds found in camellia plants	トリエステ大学薬学部特別講演	安元 健	
9	H19	ツバキエキス in vivo に おける抗アレルギー効果と 安全性検証	日本食品科学工学会 第54回大会	久場 恵美 津波 和代 廣瀬 美奈 津覇 恵子 直木 秀夫 安元 健	
10	H19	ツバキエキスに含まれる有 用成分の定量	日本食品科学工学会 第54回大会	津覇 恵子 廣瀬 美奈 直木 秀夫 安元 健	
11	H19	ツバキエキスに検出された 強力な抗炎症作用について	日本食品科学工学会 第54回大会	津波 和代 久場 恵美 廣瀬 美奈 津覇 恵子 直木 秀夫 安元 健	

12	H19	〈ポスター発表〉 ツバキに含まれる新規・強力な抗アレルギー成分	クラスタージャパン2007 テクノフェア	廣瀬 美奈 津波 和代 津覇 恵子 小野寺 健一 久場 恵美 直木 秀夫 安元 健	
----	-----	------------------------------------	-------------------------	---	--

テーマ：A-2c・・・2件

1	H19	ヤエヤマアオキ果実を原料とした機能性発酵飲料の調整	日本食品科学工学会 第54回大会	今田 有美 吉田 匠 前泊 奨布 松崎 吾朗 安仁屋 洋子 安元 健	
2	H19	〈ポスター発表〉 ヤエヤマアオキ（ノニ）発酵果汁の健康機能の解明	クラスタージャパン2007 テクノフェア	今田 有美 吉田 匠 安元 健 松崎 吾朗 安仁屋 洋子 仲本 勝男	

テーマ：B-1・・・15件

1	H17	Bioactive Secondary Metabolites from Zooxanthellae of the Genus Symbiodinium	The2nd YamadaSymposium	Kenichi Onodera	
2	H17	A historical overview of the studies on structure and etiology of marine toxins	The2ndYamada Symposium	Takeshi Yasumoto	
3	H17	当たるも八卦・当たらぬも八卦、海洋毒の謎	日本法科学技術学会 第11回学術集会	直木 秀夫	
4	H17	Application of CRF to the structural determination of marine natural products	ナカニシシンポジウム2006	直木 秀夫	
5	H17	EXPLORING THE MARINE TOXIN WORLD BY CHEMISTRY	ナカニシシンポジウム2006	安元 健	
6	H17	海産渦鞭毛藻類の生産する有毒成分	日本薬学会 第126年会	安元 健	
7	H18	《ポスターセッション》 Preparation of toxin standards for use in monitoring diarrhetic shellfish toxins by LC-MS	12 th International Conference on Harmful Algae	吉野 敦 宮城 文香 安元 健 直木 秀夫	
8	H18	シガテラ研究の今昔そして夢	戦略的創造研究推進事業（SORST）ミニシンポジウム シガテラ毒研究の最前線	安元 健	

9	H18	海洋渦鞭毛藻Prorocentrum lima 培養ろ液中の生理活性物質探索	平成19年度 日本水産学会 春季大会	小野寺 健一 佐竹 真幸 吉野 敦 東門 真紀 直木 秀夫 安元 健	
10	H18	海洋渦鞭毛藻Prorocentrum lima の大量高密度培養法の開発と商業規模生産へ向けた検討	平成19年度 日本水産学会 春季大会	吉野 敦 東門 真紀 當間 志乃	
11	H18	海洋渦鞭毛藻Prorocentrum lima と Gambierdiscus toxicus の生産物の LC/MS による検討	平成19年度 日本水産学会 春季大会	吉野 敦 東門 真紀 當間 志乃	
12	H19	An overview of marine toxin studies	International Symposium on Algal Toxins, Trieste, Italy	安元 健	
13	H19	Chemistry Biology Interface of Marine Toxin Studies	121 st AOAC Annual Meeting & Exposition	安元 健	
14	H19	沖縄産渦鞭毛藻 Gambierdiscus Toxicus の培養と生産有毒化合物の検討	平成19年度 日本水産学会 秋季大会	吉野 敦 東門 真紀	
15	H19	〈ポスター発表〉 Bioactive metabolites of Dinoflagellates from Okinawa coral reefs	V European Conference on Marine Natural Products	小野寺 健一 佐竹 真幸 吉野 敦 宮城 文香 東門 真紀 當間 志乃 田福 宣治 安元 健	

テーマ：B-2・・・9件

1	H17	海洋利用からの新産業創出	海フェスタ	安元 健	
2	H17	亜熱帯生物資源の高度利用技術の開発	平成 17 年度 産学官連携マッチングプラザ	池原 強	
3	H17	PP2AのC末端ロイシンのメチル化による活性への影響	第78回 日本生化学会	池原 さつき	
4	H17	PP2Aにおけるモノマー、ダイマー、トリマーの触媒サブユニットのメチル化の比較	第78回 日本生化学会	今村 志穂子	
5	H17	PP2A酵素の遺伝子工学的調製と天然毒検出キットへの応用	地域結集型発研究成果移転フェア	池原 強	

6	H17	タンパク質脱リン酸化酵素 (PP2A) の遺伝子工学による生産と利用	平成17年度 南方資源利用技術研究会 研究発表会	新城 富喜子	
7	H17	PP2Aの大量培養及び天然毒検出キット作成へのアプローチ	地域発先端テクノフェア 2005	池原 強	
8	H17	PP2AへのPP2A脱メチル化酵素の結合はホスファターゼ活性を低下させる	第28回 日本分子生物学会	池原 さつき	
9	H17	PP2A ホロ酵素形成における触媒サブユニット C-末端ロイシンのメチル化の影響	第28回 日本分子生物学会	今村 志穂子	

テーマ：B-3・・・4件

1	H16	品質保証のための機能性評価法・成分定量法の確立	平成16年度 地域産業技術研究成果発表会	豊川 哲也	
2	H16	モクセンナ抽出物投与による抗肥満効果および脂肪肝改善効果	平成16年度 地域産業技術研究成果発表会	豊川 哲也	
3	H17	モクセンナ抽出物の血清および肝臓コレステロール低下作用	平成17年度 地域産業技術研究成果発表会	湧田 裕子	
4	H17	県産資源を利用したより良い品質の健康指向型製品の研究	平成17年度 産学官連携マッチングプラザ	豊川 哲也	

テーマ：旧B-2・・・3件

1	H15	Biological activity of fibroblast growth factor (FGF)-5 antagonist	New Horizons in Molecular Sciences and Systems: An Integrated Approach 2003, October, Nago	Chikako Ito Toru Imamura Syuichi Oka	
2	H16	Biological activity of Fibroblast Growth Factor (FGF)-5 Antagonist	1 st Asia-Pacific International Peptide Symposium 2004, November, Fukuoka	Chikako Ito Yuko Saitoh Satoshi Suzuki Toru Imamura Syuichi Oka	
3	H16	クミスクチン抽出物のプロスタサイクリン産生促進活性、インスリン分泌促進活性などについて	日本農芸化学会2005年度大会	丸山 進 山中 晶子 市村 年昭 豊川 哲也 鎌田 靖弘 市場 俊雄	

(雑誌)

No	年度	題目	雑誌名 (巻、号、頁)	著者名	備考
1	H16	モクセンナの抗肥満効果	月刊フードケミカル 1月号	豊川 哲也	

■技術的実績

(特許) [なお、JSTが出願人に含まれるものは「J」、企業・大学等の単独出願のものは「単」、特許収入が発生しているものは「収」とそれぞれ備考欄に記入すること] [また、国内出願と外国出願は、区別して記入すること]

(国内出願)

No	年 度	特 許 の 名 称	取得 (出願) 年月日	特許番号	発明者名	備 考
1	H15	リパーゼ阻害活性且つ抗酸化活性を有する抗肥満剤	平成15年8月19日	特願2003-295036	鎌田 靖弘 豊川 哲也 照屋 正映 市場 俊雄	
2	H15	インスリン分泌促進剤	平成15年11月7日	特願2003-378694	豊川 哲也 市場 俊雄 鎌田 靖弘 照屋 正映 喜屋武 裕子	
3	H16	サツマイモ機能性エキスの取得方法	出願: 平成16年6月11日 取得: 平成19年7月6日	特許3980015号	安元 健 直木 秀夫 渡慶次 香 津波 和代 吉田 匠	
4	H16	プロスタサイクリン生成促進剤	平成16年6月14日	特願2004-175920	丸山 進 市村 年昭 山中 晶子 照屋 正映 豊川 哲也 喜屋武 裕子 市場 俊雄	
5	H16	プロテインホスファターゼ2 A型酵素ヘテロ二量体誘導体の製造方法	平成16年11月2日	PCT/JP2004/16256 (PCT加盟国)	安元 健 池原 強	
6	H16	繊維芽細胞成長因子5阻害剤の製造方法および育毛剤	平成17年1月21日	特願2005-14751	岡 修一 伊藤 千嘉子 今村 亨 照屋 正映 豊川 哲也 湧田 裕子 市場 俊雄 津波 和代	
7	H17	フコイダン加水分解生成物と免疫賦活素材とを含む組成物	平成17年7月29日	特願2005-2222546	野中 祐司 楠元 俊英 安元 健 直木 秀夫	
8	H17	フコイダン由来オリゴ糖	平成17年7月29日	特願2005-222197	野中 祐司 楠元 俊英 安元 健 直木 秀夫	

9	H17	プロテインホスファターゼ2 A型酵素ヘテロ二量体誘導体の製造方法	平成17年11月16日	PCT/JP2005/21011 (PCT加盟国)	安元 健 池原 強 新城 富喜子	
10	H17	抗炎症剤	平成18年3月15日	PCT/JP2006/305098 (PCT加盟国)	安元 健 直木 秀夫 廣瀬 美奈 津波 和代 久場 恵美 花城 薫	特許収入「有」
11	H18	脱顆粒阻害剤	平成18年5月9日	PCT/JP2006/309333 (PCT加盟国)	安元 健 直木 秀夫 廣瀬 美奈 小野寺 健一 津波 和代 久場 恵美	特許収入「有」
12	H18	ウイルス関連悪性腫瘍治療剤	平成18年7月11日	特願2006-190076	安元 健 嘉手苺 崇 森 直樹	
13	H18	フコイダン由来オリゴ糖	平成19年1月26日	PCT/JP2007/051314 (PCT加盟国)	安元 健 直木 秀夫 藤川 茂昭 福井 祐子 渡部 斉志 野中 祐司	
14	H19	フコキサンチンとフコイダンの同時製造方法	平成19年4月5日	特願2007-99233	安元 健 直木 秀夫 嘉手苺 崇 當山 洋 佐渡山 恵一 宮城 健 武田 真治	
15	H19	ヤエヤマアオキエキスおよびその利用	平成19年9月5日	特願2007-230052	今田 有美 吉田 匠 安元 健 直木 秀夫 仲本 勝男 松崎 吾朗	
16	H19	健康機能性成分高含有褐藻類の製造方法	平成19年9月21日	特願2007-244867	須藤 祐介 嘉手苺 崇 當山 洋 安元 健	
17	H19	フコキサンチン高含有褐藻類エキスの製造方法	平成19年11月12日	特願2007-293216	嘉手苺 崇 當山 洋 安元 健	

18	H19	底生性微細藻類の培養方法 およびこれに利用する培養 装置	平成19年11月15日	特願2007-296756	吉野 敦 安元 健 東門 真紀	
----	-----	------------------------------------	-------------	---------------	-----------------------	--

(国外出願)

No	年 度	特 許 の 名 称	取得 (出願) 年月日	特許番号	発明者名	備 考
1	H16	プロテインホスファター ゼ 2 A 型酵素ヘテロ二量 体誘導体の 製造方法	平成16年11月2日	PCT/JP2004/16256 (PCT加盟国)	安元 健 池原 強	
2	H17	プロテインホスファター ゼ 2 A 型酵素ヘテロ二量 体誘導体の 製造方法	平成17年11月16日	PCT/JP2005/21011 (PCT加盟国)	安元 健 池原 強 新城 富喜子	
3	H17	抗炎症剤	平成18年3月15日	PCT/JP2006/305098 (PCT加盟国)	安元 健 直木 秀夫 廣瀬 美奈 津波 和代 久場 恵美 花城 薫	
4	H18	脱顆粒阻害剤	平成18年5月9日	PCT/JP2006/309333 (PCT加盟国)	安元 健 直木 秀夫 廣瀬 美奈 小野寺 健一 津波 和代 久場 恵美	
5	H18	フコイダン加水分解生成物 と免疫賦活素材とを含む組 成物	平成18年7月28日	PCT/JP2006/315026 (PCT加盟国) 0601003537 (タイ) 95127799 (台湾) PI20063662 (マレーシア)	野中 祐司 楠元 俊英 安元 健 直木 秀夫	
6	H18	フコイダン由来オリゴ糖	平成18年7月28日	PCT/JP2006/315020 (PCT加盟国) 0601003536 (タイ) 95127822 (台湾) PI20063661 (マレーシア)	野中 祐司 楠元 俊英 安元 健 直木 秀夫	
7	H18	フコイダン由来オリゴ糖	平成19年1月26日	PCT/JP2007/051314 (PCT加盟国)	安元 健 直木 秀夫 藤川 茂昭 福井 祐子 渡部 斉志 野中 祐司	
8	H18	ウイルス関連悪性腫瘍治療 剤	平成19年3月2日	第11/681, 488号 (アメリカ合衆国)	安元 健 嘉手苺 崇 森 直樹	

(展示会出展等)

No	年 度	出展内容	展示会名	説明者	備 考
1	H16	亜熱帯生物資源の高度利用技術の開発	平成16年9月13日 地域結集型共同研究事業「平成11年度採択地域合同報告会」 日本科学未来館／東京都江東区	渡慶次 香 津波 和代	
2	H17	亜熱帯生物資源の高度利用技術の開発	平成17年8月16日 おきなわ産学官連携マッチングプラザ 沖縄産業支援センター／沖縄県那覇市	池原 強 新城 富喜子 池原 さつき 今村 志穂子	
3	H17	県産資源を利用したより良い品質の健康志向型製品の研究	平成17年8月16日 おきなわ産学官連携マッチングプラザ 沖縄産業支援センター／沖縄県那覇市	豊川 哲也 湧田 裕子 市場 俊雄 照屋 正映	
4	H17	PP2A酵素の遺伝子工学的調製と天然毒検出キットへの応用	平成17年11月2日 地域結集型発研究成果移転フェア KFC HALL／東京都墨田区	池原 強 今村 志穂子	
5	H17	亜熱帯生物資源の高度利用技術の開発	平成17年11月30日～12月2日 地域発先端テクノフェア2005 東京ビッグサイト／東京都江東区	池原 強 新城 富喜子 池原 さつき 今村 志穂子 吉田 匠	
6	H18	ツバキ属植物に含まれる抗炎症物質の解明	平成18年9月1日 産学官連携おきなわマッチングプラザ 沖縄産業支援センター／沖縄県那覇市	久場 恵美 廣瀬 美奈 津波 和代 今田 有美 津覇 恵子	
7	H18	抗アレルギー・抗炎症作用を有するツバキエキス並びにその有効成分	平成18年10月31日 地域結集型発研究成果移転フェア2006 日本科学未来館／東京都江東区	久場 恵美 津波 和代 津覇 恵子	
8	H19	機能強化食品で誰でも健康長寿！	平成19年11月28日～11月30日 地域発先端テクノフェア2005 東京ビッグサイト／東京都江東区	今田 有美 吉田 匠 津波 和代 津覇 恵子	

■地域への波及効果

(マスコミ)

No	年 度	新聞社（報道番組）名	報道年月日	内 容	備 考
1	H14	琉球新報	3/6	沖縄県地域結集型共同研究事業開始プレス発表（3/5）掲載	
2	H14	沖縄タイムス	3/6	沖縄県地域結集型共同研究事業開始プレス発表（3/5）掲載	

3	H15	琉球新報	2/6	沖縄県地域結集型共同研究事業「健康食品の新技術創出に向けた講演会及び意見交換会」開催 (2/5) 掲載
4	H16	琉球新報	6/30	特許出願：「サツマイモ機能性エキスの取得方法」プレス発表 (6/29) 掲載
5	H16	沖縄タイムス	6/30	特許出願：「サツマイモ機能性エキスの取得方法」プレス発表 (6/29) 掲載
6	H17	琉球新報	10/1	地域産業技術研究成果発表会に関して
7	H17	琉球朝日放送 ニュース	11/10	研究成果発表会に関して
8	H17	沖縄タイムス	11/11	研究成果発表会に関して
9	H17	琉球新報	11/11	研究成果発表会に関して
10	H18	琉球新報 (朝刊)	8/23	貝や藻類含有の毒素 世界で初の検出技術
11	H18	沖縄タイムス (朝刊)	8/23	貝毒判別に新キット
12	H18	NHK沖縄	8/22	貝毒の検出に新キット開発
13	H18	NHK沖縄	10/24	ツバキから抗炎症物質を発見
14	H18	琉球新報 (朝刊 9面)	10/25	ツバキから新物質発見 抗アレルギー効果大
15	H18	沖縄タイムス (朝刊 9面)	10/25	ツバキに抗炎症物質 TTCが特許出願 アレルギー抑制剤に期待
16	H18	NHK沖縄	11/29	モズクやコンブから抽出の フコキサンチン・フコキサンチノール 成人T細胞白血病に有効
17	H18	琉球朝日放送	11/29	成人T細胞白血病に有効 フコキサンチン・フコキサンチノール TTC特許出願
18	H18	沖縄テレビ	11/29	モズクやコンブの有効利用抽出物が成人T 細胞白血病に有効
19	H18	琉球新報 (朝刊 11面)	11/30	モズクやコンブから抽出 フコキサンチン・フコキサンチノール ATL白血病に有効と発表
20	H18	沖縄タイムス (朝刊 9面)	11/30	モズク色素、白血病治癒 TTC実験で確認 特許出願
21	H18	健康新聞 (第207号 1面)	12/6	フコキサンチンが成人T細胞白血病に有効 TTCと琉球大学医学部が共同研究 健康食品への利用を提案 低濃度でアポトーシスを誘導
22	H18	沖縄タイムス (朝刊 11面)	12/9	藻類成分有効に利用 研究員ら成果発表

23	H19	沖縄タイムス (朝刊 7面)	8/11	健康食品開発セミナー 健康食品開発で意見交換	
24	H19	NHK沖縄	11/7	プレス発表に関して	
25	H19	琉球新報 (朝刊 9面)	11/8	抗ガン・肥満モズク成分 大量製造技術を開発	
26	H19	沖縄タイムス (朝刊 7面)	11/8	モズク色素製品化 ノニの健康成分も特定	
27	H19	琉球新報 (朝刊 9面)	11/14	研究成果発表会 民間に5件技術移転	
28	H19	沖縄タイムス (朝刊 7面)	11/15	研究成果発表会 商品・事業化に一定成果	
29	H19	琉球新報 (朝刊 7面)	12/18	知事表敬 特許出願の成果大 県に後続事業要請	
30	H19	沖縄タイムス (朝刊 9面)	12/18	知事表敬に関して	

(発表会)

No	年 度	発 表 会 名	開催時期	開 催 場 所	参加人数	備 考
1	H14	沖縄県地域結集型共同研究事業 「事業開始記念交流会」	3/5	沖縄県那覇市 「沖縄都ホテル」	77	
2	H15	沖縄県地域結集型共同研究事業 「健康食品の新技术創出に向けた講演 会及び意見交換会」	2/5	沖縄県那覇市 「ザ・ナハテラス」	70	
3	H16	沖縄県地域結集型共同研究事業 「平成16年度研究成果発表会」	7/1	かりゆしアーバンリ ゾート那覇	143	
4	H17	沖縄県地域結集型共同研究事業 「平成17年度研究成果発表会」	11/10	かりゆしアーバンリ ゾート那覇	65	
5	H18	沖縄県地域結集型共同研究事業 「平成18年度研究成果発表会」	12/6	かりゆしアーバンリ ゾート那覇	89	
6	H19	沖縄県地域結集型共同研究事業 「健康食品開発セミナー」	8/10	かりゆしアーバンリ ゾート那覇	119	
7	H19	沖縄県地域結集型共同研究事業 「平成19年度研究成果最終報告会」	11/13	かりゆしアーバンリ ゾート那覇	121	

(団体訪問)

No	年 度	訪 問 時 期	団 体 名	訪問者数	備 考
1	H15	6/10	内閣府	2	
2		6/11	入居企業見学会	80	
3		6/25	企業立地推進課	3	
4		6/26	(株)沖縄発酵化学	1	

5		6/27	内閣府	3	
6		7/2	建築課	8	
7		7/3	国際協力事業団	6	(海外)
8		7/4	沖縄県産業振興公社	4	
9		7/15	経済産業省	3	
10		7/15	(株) 宣伝	5	
11		7/15	リノスコア	2	
12		7/16	沖縄県産業振興公社	2	
13		7/17	(株)キテイ	2	
14		7/17	D I S	2	
15		7/18	沖縄県東京事務所	1	
16		7/18	沖縄県産業振興公社	25	
17		7/25	岡山理科大学 ハマダ研究所	2	
18		7/29	沖縄県警・具志川警察署	5	
19		8/5	熱帯資源研究所	2	
20		8/5	沖縄県商工労働部長他	3	
21		8/8	開所式典	200	
22		8/13	沖縄県副知事	1	
23		8/14	内閣府	3	
24		8/19	恩納村役場	6	
25		8/19	内閣府	3	
26		8/21	沖縄総合事務局	2	
27		8/26	内閣府	3	
28		8/28	経済産業省	3	
29		9/1	内閣府	4	
30		9/5	新井教授・遠藤審議官他	4	
31		9/8	名護市議会	12	
32		9/10	内閣府	3	
33		9/16	尚 弘子氏	1	
34		9/17	サンスイ会	4	
35		9/19	沖縄振興開発金融公庫	3	

36		9/23	沖縄振興審議会	18	
37		9/29	沖縄総合事務局	3	
38		10/7	久保参事	2	
39		10/8	加計学園	6	
40		10/14	独立行政法人 科学技術振興機構	3	
41		10/16	国際シンポジウムメンバー	16	(海外)
42		10/17	内閣府・国際シンポジウムメンバー	20	(海外)
43		10/18	国際シンポジウムメンバー	7	(海外)
44		10/21	平井経済産業審議官	4	
45		10/30	工業地方分散促進協議会	21	
46		11/5	海洋科学技術センター	14	
47		11/11	沖縄産業計画	3	
48		11/17	具志川市議会	3	
49		11/18	健康食品事業協同組合	17	
50		11/20	山形県鶴岡市議会議員	12	
51		11/27	沖縄県市議会	30	
52		11/28	産業振興公社	3	
53		12/1	那覇市 I T創造館	6	
54		12/10	産業技術総合研究所	2	
55		12/12	参議院第一特別調査室	6	
56		12/12	南九州大学教授	1	
57		12/18	(株)キティー	3	
58		12/19	ヒューマンサイエンス	12	
59		12/19	長崎県商工労働部産業振興課長	4	
60		1/13	企業立地推進課	2	
61		1/14	沖縄県及び北方問題の委員会	19	
62		1/16	国際交流課	9	(海外)
63		1/19	武蔵野免疫研究所	4	
64		1/22	勝野審議官	7	
65		2/5	経団連	30	
66		2/9	滋賀県議会	12	

67		2/10	総合事務局	2	
68		2/12	内閣府木村参事官	3	
69		2/13	東京事務所伊佐次長	2	
70		2/18	岡山工業技術センター	1	
71		2/23	工業連合会	40	
72		2/27	沖縄県企画開発部	3	
73		3/2	岐阜県知事公室参事兼総合政策	4	
74		3/12	工技センター 全国会議	30	
75		3/15	東沖縄振興局長	4	
76		3/17	内閣府沖縄担当	7	
77		3/17	内閣府横山補佐	4	
78		3/19	内閣府沖縄担当企画・産業課長	2	
79		3/22	総務省自治財政局調整課	4	
80		3/25	内閣府	4	
81		3/30	厚生労働省医薬食品局	2	
82	H16	4/2	企業立地推進課他	4	
83		4/2	工業技術センター所長	2	
84		4/2	企業立地推進課他	3	
85		4/7	産業振興公社	7	
86		4/8	漢羅日報社取材	7	(海外)
87		4/8	企業立地推進課他	10	
88		4/8	加計学園	4	
89		4/8	沖縄構造設計	3	
90		4/8	企画調整室	2	
91		4/15	大阪府議会公明党	6	
92		4/15	企業立地推進課	6	
93		4/16	京都府農林委員会	11	
94		4/21	財務省主計局白石主査	8	
95		4/23	企業立地推進課	15	
96		4/27	財政課、産業政策課	2	
97		5/21	ゴーヤーパーク	3	

98		5/24	内閣府	4	
99		5/26	サイテックカレッジ	30	
100		6/1	人事課、産業政策課	6	
101		6/4	茂木大臣後援会	24	
102		6/11	産業政策課	4	
103		6/11	大阪府立研究所	10	
104		6/11	ヒューマンサイエンス	20	
105		7/27	経営者協会	40	
106		8/11	産業政策課	3	
107		9/1	宮崎県食品開発センター	2	
108		9/2	内閣府	3	
109		9/13	琉球大学農学部	2	
110		9/14	企業	3	
111		9/15	内閣府	5	
112		9/21	内閣府	4	
113		10/5	産業振興公社	2	
114		10/7	企業立地推進課（日立製作所）	5	
115		10/12	経済産業大臣官房地域中小企業	10	
116		10/18	おきなわ証券株式会社	1	
117		10/20	(有) ガーデンパナ	2	
118		10/21	(株)キティー	2	
119		10/28	文科省会計課	3	
120		11/9	レキオファーマ	4	
121		11/10	岩見沢市議会	6	
122		11/12	さかき技術合流研究所	13	
123		11/17	産業振興公社	6	
124		11/25	琉球大学	1	
125		12/2	経済産業部 政策課	3	
126		12/9	北海道大学くすざき様	1	
127		12/14	産業振興公社	4	
128		12/26	大学院大学	8	

129		1/11	熱帯資源植物研究所	4	
130		1/13	沖縄県警察本部 警備部	2	
131		1/19	棚橋大臣 県警本部	18	
132		1/20	工業技術センター	3	
133		1/24	韓国済州大学	17	(海外)
134		1/25	中小企業整備基盤機構	3	
135		1/26	鈴鹿市議会	3	
136		2/8	江利川事務次官	5	
137		2/10	健康バイオモニターツアー	30	
138		2/17	翔南製糖(株)	1	
139		2/23	インドネシア政府	8	(海外)
140		2/24	台湾政府	7	(海外)
141		2/25	バイオ21(株) 岡田様	3	
142		3/3	健康バイオモニターツアー	42	
143		3/23	企業立地・推進課	3	
144		3/23	八重山支庁	3	
145		3/25	内閣府 山本政策統括官	3	
146		3/28	東京事務所	5	
147	H17	6/2	農業生産法人 稲穂	4	
148		6/21	サントリー(株)	3	
149		7/11	宮崎県地域結集型共同研究事業	2	
150		8/30	内閣府	2	
151		9/6	(有) 勝山シークワサー	2	
152		9/29	(有) 勝山シークワサー	2	
153		10/6	NHK沖縄放送局	1	
154		11/9	アクアカルチャーオキナワ	2	
155		11/16	沖縄健康・バイオ産業モニターツアー (内閣府主催)	20	
156		12/9	(有) 勝山シークワサー	2	
157		12/19	産学官連携コーディネーター 九州沖縄地区会議	20	
158		1/23	衛生環境研究所	4	

159		2/16	(株)沖縄発酵化学	3	
160		2/22	沖縄電力(株)	4	
161		3/9	(株)仲善	3	
162	H18	4/10	(株)沖縄発酵化学	3	
163		4/10	(株)琉球バイオリソース開発	3	
164		4/14	沖縄電力(株)	4	
165		5/22	(株)仲善	4	
166		5/22	沖縄電力(株)	4	
167		6/14	(株)琉球バイオリソース開発	2	
168		6/15	金秀バイオ(株)	4	
169		6/26	(財)日本食品分析センター	2	
170		6/26	(財)日本食品分析センター	1	
171		6/29	北里大学	1	
172		6/30	金秀バイオ(株)	2	
173		7/12	金秀バイオ(株)	4	
174		7/31	金秀バイオ(株)	4	
175		8/1	(株)琉球バイオリソース開発	3	
176		8/10	(株)琉球バイオリソース開発	3	
177		9/28	沖縄県科学技術振興課	10	
178		10/2	静岡大学	4	
179		10/17	大阪大学	3	
180		10/26	北海道大学	4	
181		11/14	沖縄県科学技術振興課	1	
182		11/16	(株)琉球バイオリソース開発	3	
183		12/7	千葉県地域結集 新技術エージェント	1	
184		12/15	沖縄県科学技術振興課	1	
185		1/24	日本分光株式会社	4	
186		1/26	(株)沖縄TLO	3	
187		2/13	(株)琉球バイオリソース開発	3	
188		3/7	奈良県地域結集	5	
189	H19	4/10	沖縄県副知事	8	

190		5/7	(株)琉球バイオリソース開発	3	
191		5/21	(株)沖縄TLO	3	
192		6/13	(株)沖縄TLO	3	
193		7/29	(株)琉球バイオリソース開発	3	
194		8/23	バイオ21(株)	2	
195		9/6	バイオ21(株)	2	
196		9/12	(株)琉球バイオリソース開発	2	
197		10/12	(株)琉球バイオリソース開発	2	
198		10/29	バイオ21(株)	2	
199		11/9	厚生労働省	10	(海外)
200		11/29	バイオ21(株)	1	
201		12/13	(株)琉球バイオリソース開発	3	
202		12/19	バイオ21(株)	2	

他事業への展開、実用化、商品化、起業化実績

1. 他事業への橋渡し実績

(1) 文部科学省関連事業
なし

(2) 経済産業省関係事業

事業名：地域新生コンソーシアム研究開発事業 平成19年度採択
資金を出す機関：経済産業省 予算規模：78,000千円 事業期間：平成19年8月～平成20年3月
もともなったサブテーマ名：生物資源に含まれる有用物質の機能解析 もともなった小テーマ名：遺伝子資源の有効利用
もともなったサブテマリーダー：TTC 主任研究員 池原 強 もともなった研究従事者：TTC 池原 強、新城 富喜子、池原 さつき、今村 志穂子
特許： 発明の名称：プロテインホスファターゼ2 A型酵素ヘテロ二量体誘導体の製造方法 出願番号：PCT/JP2005/21011 出願日：平成17年11月16日
参加研究機関（企業含む）：(株)トロピカルテクノセンター、(株)沖縄環境保全研究所、 沖縄県衛生環境研究所、(独)国立環境研究所
研究概要：「プロテインホスファターゼ2 Aを利用した藍藻毒分析キットの開発」

(3) その他の省庁関係事業

事業名：沖縄産学官共同研究推進事業 平成17年度採択
資金を出す機関：内閣府（2/3） 沖縄県（1/3） 予算規模：5,500万円 事業期間：平成17年6月1日～平成18年3月10日
もともなったサブテーマ名：生物資源を利用した有用物質の生産技術開発 もともなった小テーマ名：食用植物資源物の新規利用法および加工技術の開発 (ムラサキイモ色素成分の有効利用)
もともなったサブテマリーダー：TTC 研究副統括 直木 秀夫 もともなった研究従事者：(株)琉球バイオリソース開発 与那覇 恵 TTC 渡慶次 香、津波 和代、吉田 匠
特許： 発明の名称：サツマイモ機能性エキスの取得方法 出願番号：特願 2004-173295 出願日：平成16年6月11日 特許査定：特許 3980015号 取得日：平成19年7月6日
参加研究機関（企業含む）：(株)琉球バイオリソース開発
研究概要：サツマイモの茎葉部にアントシアニンが多く含まれるが、これまで家畜の餌や肥料などに用いられ、付加価値をつけて有効利用されていないのが現状であったが、沖縄県地域結集型共同研究事業の成果を技術移転することにより、独自の技術で付加価値を高めた製品開発技術を有する(株)琉球バイオリソース開発と、機能性を科学的に立証するノウハウを有する、琉球大学およびお茶の水女子大学が連携し、早期実用化を目指し、パイロットプラントレベルでの製造技術を確認する。

事業名：沖縄産学官共同研究推進事業 平成18年度採択
資金を出す機関：内閣府（2／3） 沖縄県（1／3） 予算規模：7,500万円 事業期間：平成18年6月1日～平成19年3月10日
もともになったサブテーマ名：生物資源に含まれる有用物質の機能解析 もともになった小テーマ名：遺伝子資源の有効利用
もともになったサブテーマリーダー：TTC 主任研究員 池原 強 もともになった研究従事者：TTC 池原 強、新城 富喜子、池原 さつき、今村 志穂子
特許： 発明の名称：プロテインホスファターゼ2 A型酵素ヘテロ二量体誘導体の製造方法 出願番号：PCT/JP2005/21011 出願日：平成17年11月16日
参加研究機関（企業含む）：（株）トロピカルテクノセンター、沖縄県衛生環境研究所
研究概要：タンパク質脱リン酸化酵素2 A（PP2A）の大量生産と利用開発

事業名：沖縄イノベーション創出総合支援事業 平成19年度採択
資金を出す機関：内閣府（2／3） 沖縄県（1／3） 予算規模：1,000万円（顕在化ステージ） 事業期間：平成19年6月1日～平成20年3月
もともになったサブテーマ名：生物資源を利用した有用物質の生産技術開発 もともになった小テーマ名：食用植物資源の新規利用法および加工技術の開発 （ツバキ属植物に含まれる有用物質の探索）
もともになったサブテーマリーダー：TTC 研究員 久場 恵美 もともになった研究従事者：TTC 久場 恵美、廣瀬 美奈、津波 和代
特許： 発明の名称：抗炎症剤 出願番号：PCT/JP2006/305098 出願日：平成18年3月15日
参加研究機関（企業含む）： 琉球大学医学部（久場恵美）、沖縄県農業研究センター、(株)仲善 管理法人：（株）トロピカルテクノセンター
研究概要：沖縄産ツバキを素材とした高機能性健康食品の開発 沖縄産ツバキには、脱顆粒阻害作用が現行のアレルギー治療剤の約1万倍を示す化合物が含まれており、「花粉症」や「自己免疫疾患」に対して効果が期待される。本研究は、ツバキの抗アレルギー作用を顕在化させるとともに、日本茶のように嗜好性を向上させ、なお且つ生活習慣病予防、疲労回復・リフレッシュ効果が期待できる商品の開発を目指す。

事業名：沖縄イノベーション創出総合支援事業 平成19年度採択
資金を出す機関：内閣府（2／3） 沖縄県（1／3） 予算規模：50,000千円（事業化ステージ） 事業期間：平成19年7月1日～平成20年3月
もともになったサブテーマ名：生物資源を利用した有用物質の生産技術開発 もともになった小テーマ名：食用植物資源の新規利用法および加工技術の開発 （ムラサキイモ色素成分の有効利用）
もともになったサブテマリーダー：TTC 研究副統括 直木 秀夫 もともになった研究従事者：(株)琉球バイオリソース開発 与那覇 恵 TTC 渡慶次 香、津波 和代、吉田 匠
特許： 発明の名称：サツマイモ機能性エキスの取得方法 出願番号：特願 2004-173295 出願日：平成16年6月11日 特許査定：特許 3980015号 取得日：平成19年7月6日
参加研究機関（企業含む）：(株)琉球バイオリソース開発、お茶の水女子大学
研究概要：「沖縄産紫イモ機能性エキスを活用した即実効型視覚改善食品の開発」

(4) 自治体単独事業
 なし

2. 実用化されたもの

製品（技術）概要：フコキサンチン入りサプリメント
もともになったサブテーマ名：生物資源を利用した有用物質の生産技術開発 もともになった小テーマ名：海藻類の機能性物質の生産技術開発 （モズク等褐藻類の機能性物質）
もともになったサブテマリーダー：TTC 研究員 嘉手苺 崇 もともになった研究従事者：TTC 研究員 嘉手苺 崇、當山 洋 金秀バイオ(株) 武田 真治、宮城 健、佐渡山 恵一 琉球大学医学部 森 直樹 沖縄県水産海洋研究センター 須藤 祐介
特許： 発明の名称（出願人）、出願番号、出願日 ①ウイルス関連悪性腫瘍治療剤（出願人：琉球大学、TTC） 特願 2006-190076（日本） 平成18年7月11日 第11/681,488号（アメリカ） 平成19年3月2日 ②フコキサンチンとフコイダンの同時製造方法（出願人：金秀バイオ、TTC） 特願 2007-99233（日本） 平成19年4月5日 ③健康機能性成分高含有褐藻類の製造方法（出願人：沖縄県、TTC） 特願 2007-244867（日本） 平成19年9月21日 ④フコキサンチン高含有褐藻類エキスの製造方法（出願人：TTC） 特願 2007-293216（日本） 平成19年11月12日
参加研究機関：琉球大学医学部、沖縄県水産海洋研究センター
企業：金秀バイオ(株)

製品（技術）概要：健康機能を損なわず風味を改善したノン発酵飲料
もともなったサブテーマ名：生物資源を利用した有用物質の生産技術開発 もともなった小テーマ名：食用植物資源の新規利用法および加工技術の開発 (ヤエヤマアオキ果実発酵飲料の調製)
もともなったサブテームリーダー：TTC 研究者 今田 有美 もともなった研究従事者：TTC 今田 有美、吉田 匠 (株)仲善 仲本 勝男 琉球大学遺伝子実験センター 松崎 吾朗
特許： 発明の名称：ヤエヤマアオキエキスおよびその利用 出願番号：特願 2007-230052 出願日：平成 19 年 9 月 5 日
参加研究機関：琉球大学遺伝子実験センター、沖縄県物産公社
企業：(株)仲善

製品（技術）概要：紫イモ機能性エキスを活用した即実効型視覚改善食品
もともなったサブテーマ名：生物資源を利用した有用物質の生産技術開発 もともなった小テーマ名：食用植物資源の新規利用法および加工技術の開発 (ムラサキイモ色素成分の有効利用)
もともなったサブテームリーダー：TTC 研究副統括 直木 秀夫 もともなった研究従事者：(株)琉球バイオリソース開発 与那覇 恵 TTC 渡慶次 香、津波 和代、吉田 匠
特許： 発明の名称：サツマイモ機能性エキスの取得方法 出願番号：特願 2004-173295 出願日：平成16年6月11日 特許査定：特許 3980015 号 取得日：平成 19 年 7 月 6 日
参加研究機関：
企業：(株)琉球バイオリソース開発

3. 商品化されたもの

製品（技術）概要：ツバキの機能成分を生かした健康食品 商品名「沖縄の椿茶」 H19.4.1 発売
もともなったサブテーマ名：生物資源を利用した有用物質の生産技術開発 もともなった小テーマ名：食用植物資源の新規利用法および加工技術の開発 (ツバキ属植物に含まれる有用物質の探索)
もともなったサブテームリーダー：TTC 研究者 久場 恵美 もともなった研究従事者：TTC 久場 恵美、廣瀬 美奈、津波 和代、花城 薫
特許： 発明の名称：抗炎症剤 出願番号：PCT/JP2006/305098 出願日：平成18年3月15日
参加研究機関：(株) トロピカルテクノセンター
企業：(株) 仲善
販売実績（販売個数、売上金額等）：（H19.12月末現在） （7包入：392個、10包入：2,539個、35包入：74個、売上合計：2,992,500円）

製品（技術）概要：タンパク質脱リン酸化酵素 2 A を利用した製品「貝毒検出キット」 商品名「DSP Rapid Kit」 H19.6.1 発売
もともなったサブテーマ名：生物資源に含まれる有用物質の機能解析 もともなった小テーマ名：遺伝子資源の有効利用
もともなったサブテーマリーダー：TTC 主任研究員 池原 強 もともなった研究従事者：TTC 池原 強、新城 富喜子、池原 さつき、今村 志穂子
特許： 発明の名称：プロテインホスファターゼ 2 A 型酵素ヘテロ二量体誘導体の製造方法 出願番号：PCT/JP2005/21011 出願日：平成17年11月16日
参加研究機関：（株）トロピカルテクノセンター
企業：（株）トロピカルテクノセンター
販売実績（販売個数、売上金額等）：（H19.12月末現在） （26個、552,825円）

製品（技術）概要：タンパク質脱リン酸化酵素 2 A 商品名「Recombinant Human Protein Phosphatase 2A Dimer」
もともなったサブテーマ名：生物資源に含まれる有用物質の機能解析 もともなった小テーマ名：遺伝子資源の有効利用
もともなったサブテーマリーダー：TTC 主任研究員 池原 強 もともなった研究従事者：TTC 池原 強、新城 富喜子、池原 さつき、今村 志穂子
特許： 発明の名称：プロテインホスファターゼ 2 A 型酵素ヘテロ二量体誘導体の製造方法 出願番号：PCT/JP2005/21011 出願日：平成17年11月16日
参加研究機関：（株）トロピカルテクノセンター
企業：（株）トロピカルテクノセンター
販売実績（販売個数、売上金額等）：（H19.12月末現在） （20本、294,000円）

4. 起業化されたもの（ベンチャー企業等）

なし